

電気通信大学 平成16年度シラバス

授業科目名	ヒューマンインタフェース		
英文授業科目名	Human Interface		
開講年度	2004年度	開講年次	3年次
開講学期	5学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法		単位数	2
科目区分	専門科目-専門共通科目-選択科目		
開講学科・専攻	システム工学科		
担当教官名	板倉 直明		
居室	西5-403		

公開E-Mail	授業関連Webページ
ita@se.uec.ac.jp	

<b>【主題および達成目標】</b>
<p>(a)主題 人間工学、生体システムを中心として、ヒューマンインタフェース全般の広い研究対象について概要を講義する。</p> <p>(b)達成目標 この科目では、ヒューマンインタフェース全般に必要な基本知識、分野、理論などを理解する。</p>

<b>【前もって履修しておくべき科目】</b>
なし

<b>【前もって履修しておくことが望ましい科目】</b>
なし

<b>【教科書等】</b>
なし

【授業内容とその進め方】

- (1) ヒューマンインタフェースとは
- (2) 生体のシステム
  - ・人間要素の重要性
  - ・人体の構成要素
  - ・中枢神経系、末梢神経系
- (3) 感覚系
  - ・特殊感覚
  - ・体性感覚
- (4) 運動系
  - ・骨格系、筋系
- (5) 神経筋制御系の研究
- (6) 生理的・心理的機能の測定と評価
  - ・生理的機能の測定
  - ・心理的機能の評価
  - ・動作・作業測定
  - ・統計的手法
- (7) ヒューマンインタフェース(マンマシンシステム)
- (8) 人間と環境
- (9) ヒューマンインタフェースの具体的研究例の紹介

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

(a) 評価方法

中間と期末に行なうレポートか試験の成績に基づき評価を行なう。  
また、出席回数も成績評価に考慮する。(3回連続して講義を休んだものは、単位は取れないものとする。)

成績評価 = 出席点x% + レポート点又は試験点y% (x、yは個人で選択)

(b) 評価基準

ヒューマンインタフェース全般に必要な基本知識、分野、理論などを説明できることを最低基準とする。

【オフィスアワー：授業相談】

適宜相談に応じるが、メールなどで事前にアポイントを取ること。

【学生へのメッセージ】

できるだけ学生が積極的に講義に参加できるように、学生の意見を取り入れて講義を行なう予定です。

電気通信大学 平成16年度シラバス

【その他】